

東北地方 1か月予報

(1月24日から2月23日までの天候見通し)

平成21年1月23日
仙台管区気象台発表

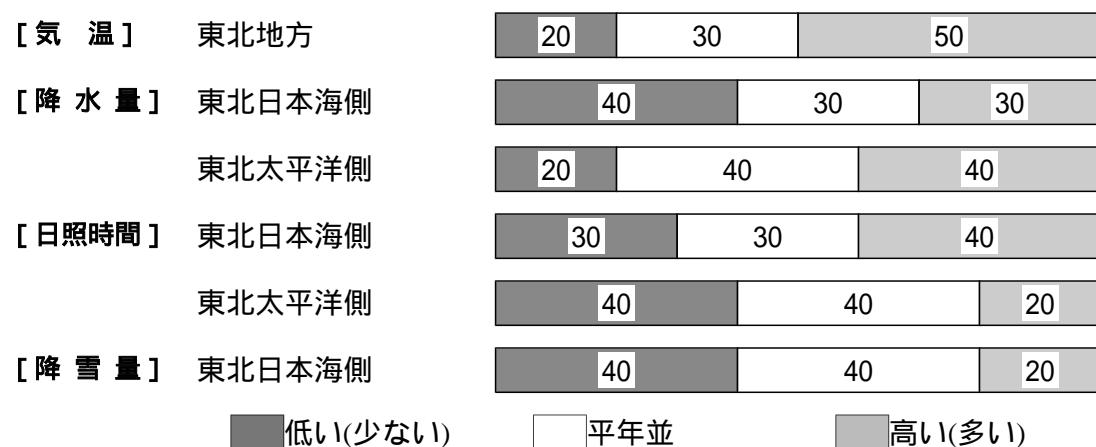
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

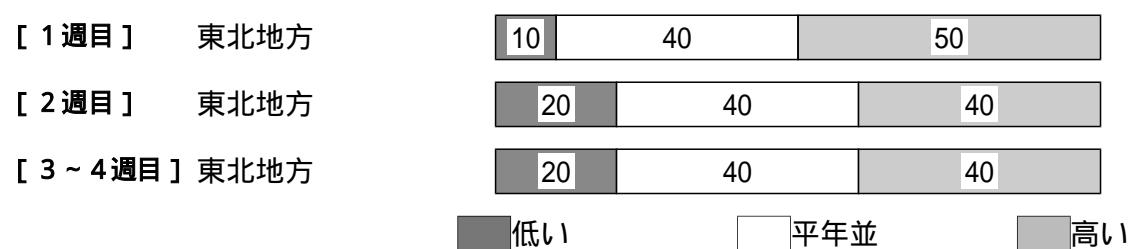
向こう1か月の平均気温は高い確率が50%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が50%、2週目、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 1月24日(土) ~ 2月23日(月)
1週目 : 1月24日(土) ~ 1月30日(金)
2週目 : 1月31日(土) ~ 2月6日(金)
3~4週目 : 2月7日(土) ~ 2月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月30日

3か月予報：2月25日(水) 14時

暖候期予報：2月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.5	134.8	73.4	247	-2.0	-1.9	-1.3
深浦	-0.6	84.3	46.5	136	-1.1	-1.0	-0.4
むつ	-1.9	92.2	94.4	193	-2.2	-2.2	-1.7
八戸	-1.3	56.3	143.5	118	-1.8	-1.7	-1.0
秋田	-0.2	100.2	63.8	136	-0.6	-0.5	0.1
盛岡	-2.0	54.6	139.3	112	-2.6	-2.5	-1.7
大船渡	0.6	55.4	156.6	31	0.1	0.2	0.8
宮古	0.0	77.0	169.1	74	-0.4	-0.4	0.2
仙台	1.4	46.1	165.8	38	0.9	1.0	1.7
石巻	0.5	41.7	180.3	21	0.0	0.1	0.9
山形	-0.5	74.7	103.1	170	-1.0	-0.9	-0.3
新庄	-1.3	165.1	55.5	282	-1.7	-1.6	-1.0
酒田	1.2	129.7	57.4	140	0.8	0.9	1.4
福島	1.5	49.1	157.1	79	1.0	1.0	1.8
若松	-0.7	75.0	100.5	183	-1.1	-1.1	-0.4
白河	0.1	36.5	170.1	56	-0.3	-0.3	0.4
小名浜	3.4	57.8	195.2	0	3.1	3.1	3.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.6	79～107	95～104	84～108
東北日本海側	-0.3～+0.6	89～106	90～110	90～107
東北太平洋側	-0.3～+0.7	67～109	99～102	78～111

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.7～+0.9	-0.6～+0.8	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.9	-0.6～+0.8	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.7～+1.0	-0.5～+0.9	-0.4～+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年1月23日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月24日～2月23日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(1月24日～1月30日)：

東北日本海側では、期間のはじめは気圧の谷や寒気の影響で雪ですが、期間の中頃からは晴れる日があるでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめと終わりは気圧の谷や寒気の影響で曇りで雪の降る日がありますが、期間の中頃はおおむね晴れる見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(1月31日～2月6日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

3～4週目(2月7日～2月20日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

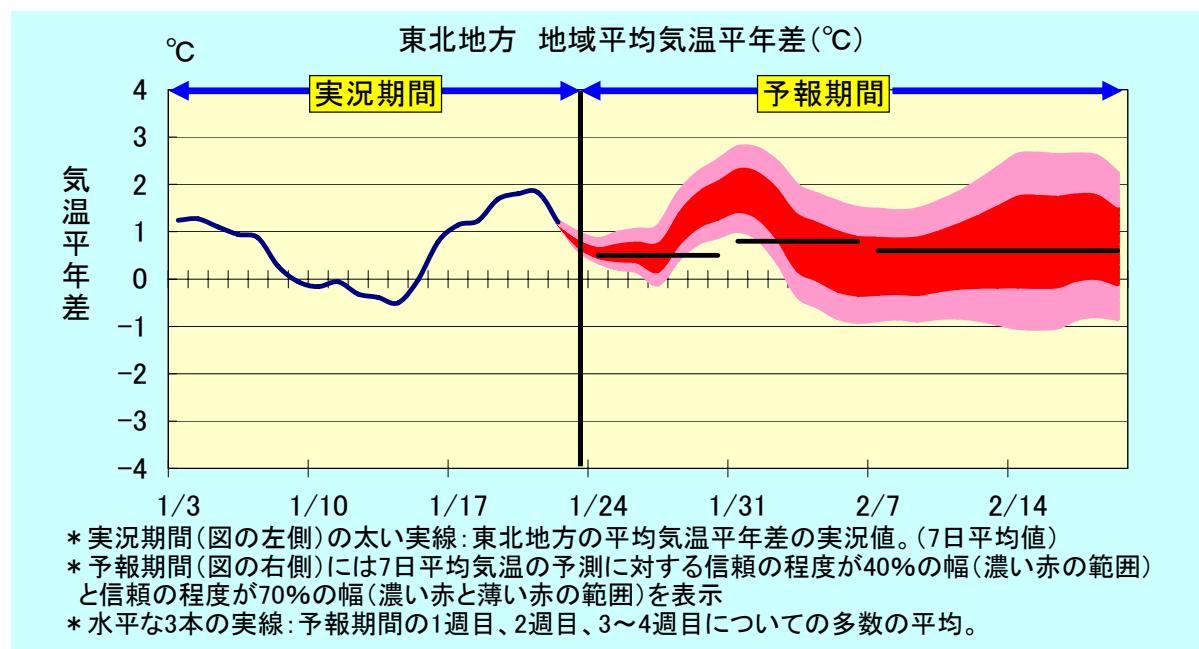
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	5.7日	1.3日	1.3日	3.1日
東北太平洋側	18.4日	4.8日	4.6日	9.0日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3～4週目はともに平年付近の予想となっている。予報は他の資料から高めに考える。

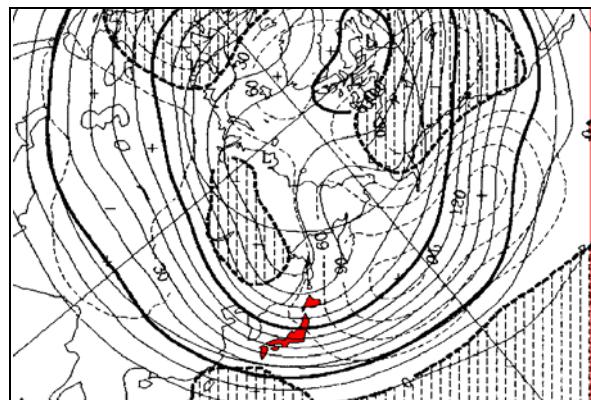


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東域はバイカル湖付近をのぞいて広く正偏差で、日本の東海上で正偏差が強い。西谷傾向であり、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい見込み。日本付近に寒気が南下しにくい大気の流れであり、高温傾向が見込まれる。

1週目: 寒帯前線ジェット沿いの波列と亜熱帯ジェット沿いの波列がともに明瞭。日本の西側で負偏差、東側で正偏差となっていて、西谷傾向が強い。低気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、高温傾向が見込まれる。

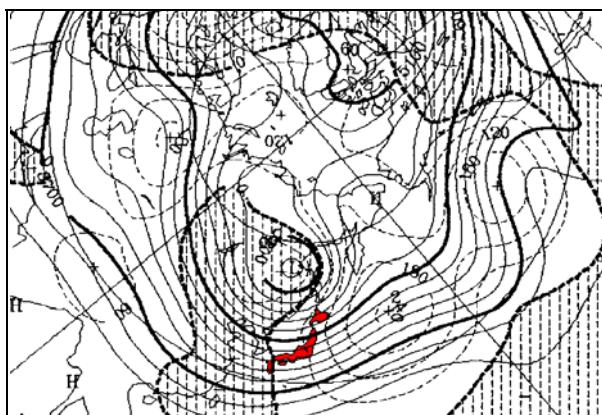
2週目: 日本付近は広く正偏差で、日本の北側から東海上で正偏差が強い。東北地方への寒気の影響は平年より小さい見込み。1週目に比べて西谷傾向は弱まる。



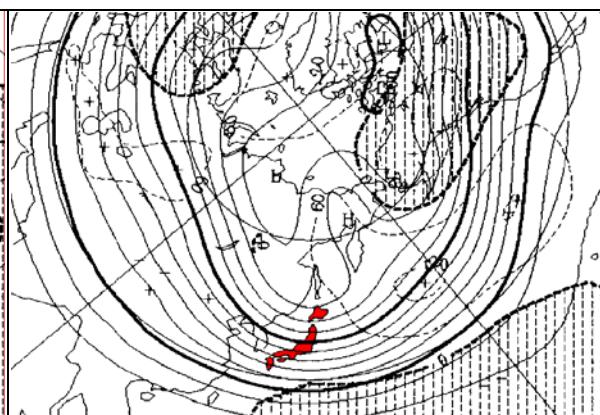
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

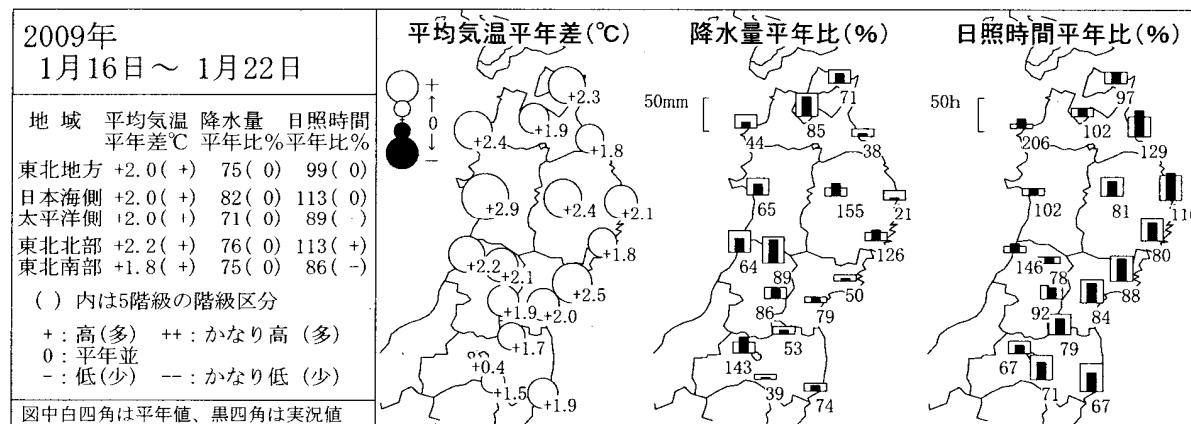
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (1月16日～1月22日) の天候の経過

この期間、低気圧や気圧の谷と高気圧が日本付近を交互に通過した。低気圧の通過後には一時冬型の気圧配置となったが、冬型の気圧配置が長続きすることはなかった。このため、東北地方への強い寒気の南下ではなく、気温は高くなかった。日本の南岸を低気圧や前線が通過することが多かったため、東北南部では平年に比べて日照時間が少なかった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）